

多摩市農業委員会だより

市制50周年をむかえて…



▲1968(昭和43)年12月 桜ヶ丘団地上空から諏訪・永山方面を見る
(UR都市機構寄贈資料・公益財団法人 多摩市文化振興財団所蔵)



▲2012(平成24)年7月 桜ヶ丘団地上空から諏訪・永山方面を見る
(公益財団法人 多摩市文化振興財団撮影)

うつり変わる農地を見る

第44号
令和4年1月1日

編集・発行

多摩市農業委員会
多摩市関戸6-12-1
☎042-3338-6848



多摩市の農地の現在と昔を、写真で比較しながら紹介するシリーズです

多摩市は市制50周年を迎えました。今回は、大きく空から見た航空写真で、昭和43年と平成24年の様子を比べていきます「完全な定点比較写真ではないため、参考までに、上下写真の同じ位置(馬引沢団地)を黄線部分で示しています」。

古い写真は、まだ多摩町であったところで、44年の隔たりは大きく、現況との違いが一目瞭然です。丘陵の地形で谷戸に農地が広がり、すぐわきに雑木林がある里山の風景でした。コナラやクヌギ中心の林で、炭焼きも行われていました。

今はニュータウンとして造成されていますが、注意深く見ると、公園や地名に昔の地形の名残が残っており、散策するのも趣があります。

昔は田んぼも数多くあり、その頃の農家件数はおおよそ590戸、そのうち専業農家は117戸もあり、農業が中心の地域であった事がよくわかります。

現在の農家件数は約80戸、専業農家は数戸と、だいぶ少なくなってしまうましたが、今残っている農地を、出来るだけ次の世代へと引き継いでいきたいものです。

(農業委員 増田実生)